

旅

山清郡

韓国

最初に韓方を広めたと言われる柳婁の銅像前で、観光客との記念写真に収まるチャン・ウンクさん(申)と伝統韓方体験観光地で

伝統的な造りの尼僧寺「大源寺」。手前は発酵食品を保存するつぼ

釜山から車で西へ向かい、山あいを縫うように進む。谷間に清流の恵みを受けた田んぼが広がり、どこか懐かしい山里に入った。韓国・慶尚南道山清郡。人口約三万六千人で、韓医学の発祥地として知られる。山清では二〇一三年に「世界伝統医薬EXPO」を開催。山清から南の全羅南道東部沿岸にある三千万人都市・麗水市でも、その前の二年に「麗水世界博覧会」(麗水EXPO)が予定されるなど、ビッグイベントが相次いで計画されている。



山と水と人の三つの「清」が調和しているといわれる山清。韓国三天霊山として崇められる

「智異山」(一、九二五)などの険しい山に取り囲まれ、山々の裾野には千種類を超す薬草が生える。

「山清智異山薬草研究発展特区」に指定されている「伝統韓方休養観光地」に足を運んだ。この中には韓国で初の「韓医学博物館」があるほか、伝統医薬EXPOもこの周辺で開かれる。同EXPOの観光大使には、日本でも活躍している歌手のチャン・ウンク(張銀淑)さんが任命され、会場となる東医守齋村など関連施設の準備が着々と進められていた。

この地区にある古い寺の裏山には、地の気運を奉るといわれる亀鑑石があり、その大きさに驚かされた。高さ七・九尺、幅四・三尺、重さ百二十ト以上。亀の甲羅に似ている表面



には、健康や出世などについて人間が成し遂げるべき内容が刻み込まれており、韓国で人気上昇中のパワースポットだ。地元の男性から、親指と人さし指の先をつけて円をつくるように促された。額と広げた両手を亀鑑石に付け、しばらく

「気を受けた後、指で円をつくってみた。指を石から離そうとしたが離れない。気のせいとか、大きな気が伝わってきたように、不思議な気分になった。これがパワーストーンなのか。地元の部長を務める李在根さんは「(こそ)気を受けて

社長になった人や、重い病気がその場で治ったという人もいる」と話した。屋敷は「薬草しずくしゃぶ」。薬草酒をたしなみながら食べるキムコ類と薬草が「韓牛」と呼ばれる地元の牛肉とマッチし、心まで満たしてくれた。この後、鍼灸を体験。足の先から腕まで鍼を打ってもらった足が軽くなり、気分もフレッシュした。

清らかな自然とパワー

山清には、「韓国で最も美しい」といわれる大源寺溪谷がある。近くの尼僧寺「大源寺」の参禅道場で心を静め、香き通る清流を眺めるのが洗われる。韓国の伝統的な家屋「韓屋」を配して農村を復元したテーマパーク「南沙雲談村」では、温かみのある山里の生活に触れることができる。山清の特産品は、自然の恵みを受け、いっばいに浴びたいチゴヤ干し柿。「ソウルのデザートでは最高級品」と李さんは胸を張った。体と心を癒やしてくれる優しさで、パワーにあふれた旅を満喫した。



亀鑑石に祈りをささげる人たちはいずれも韓国・山清郡で

メモ

◆交通 釜山へは成田、中部国際などから定期便がある。山清郡は釜山からバスで約2時間。慶尚南道の拠点都市・晋州から車で約30分。

◆問い合わせ 山清郡の慶尚南道観光案内(日本語対応あり)＝国際電話識別番号+82(55)1330。山清郡の日本語HPは「山清文化観光」で検索可。

おすすめ

★山清韓医学博物館 韓医学の歴史などを人形などを使ってわかりやすく紹介＝写真。薬草展示場や販売所も。韓医学の体験もでき



る。世界伝統医薬EXPOは2013年9月10日～10月19日。

★山清窯 山清は高麗茶わんの古里。素朴な味わいのある茶わんを追求する韓国陶芸界の第一人者、閔泳麒さんの自宅があり、作品も展示。今は陶芸家としても知られる細川護熙元首相も閔さん宅で手ほどきを受けたことがある。

★晋州城 晋州市にある晋州城は豊臣秀吉の朝鮮出兵時の激戦地として知られる。城内に国立晋州博物館など見どころが多い。

★麗水EXPO 美しい海岸線で知られる麗水市で2012年5月12日～8月12日、「生きている海と海岸(資源の多様性と持続可能な活動)」をテーマに開催。日本語版もある公式HPは「EXPO2012」で検索可。

過去の記事は中日新聞ホームページでご覧いただけます。「旅だより ぶらっ人旅だより」で検索できます。

文・写真 佐藤史朗